

読書山梨

Yamanashi Prefectural Library

vol.132

発行日
平成24年3月1日

新館長からのメッセージ

不安も大きい ー新館長に就任してー

阿刀田 高

新設の県立図書館の館長に就任することは、とてもうれしい。大きな使命感を感じるが、

ー大丈夫かなー

その不安がないわけではない。

図書館は、かつて国立国会図書館に司書として勤めた経験があるので、一通りのことは知っているけれど、それは一介の司書としての体験であり、ずいぶんと昔のことでもある。

読書には充分に関心を持ち、その重要性も知っているつもり

だが、現代の大図書館の運営にはいろいろなむづかしさがともなう。

新館の建ったそのときに少々不適切な発言かもしれないが、私は図書館にとっては“人、本、建物”の順で大切と考える立場である。読書を愛し資料に通じた人材が関わることが第一義である。よい人がいればほかはなんとかなる。素晴らしい建物はもとより喜ばしいが、むしろそこでだれが、なにをするかが肝要だ。ここでいう“人”の中には図書館の利用者も含まれる。あえてひとこと“図書館は無料の貸し本屋ではない”ことを知ってほしい。



阿刀田高氏



新県立図書館外観（イメージ）

～目次～

- ・新館長からのメッセージ
- ・新県立図書館開館に向けて
ー11月11日(日)開館！ー
- ・～信玄VS謙信！あの一騎打ちから450年～
資料紹介展示
「風林火山ー川中島合戦in図書館」
- ・読書日和
- ・図書館ギャラリー
- ・新県立図書館開館準備のための休館について
- ・お知らせ



新県立図書館内部（イメージ）

新県立図書館開館に向けて -11月11日(日)開館！-

■作家・阿刀田高氏を館長に迎え、11月11日(日)に開館します。

甲府駅北口に建設中の新県立図書館は3月中に建物が完成し、6月11日(月)からは現在の図書館を休館して本格的に移転作業を行います。書架を設置し、図書や雑誌などの膨大な資料を現図書館から移して、いよいよ11月11日(日)には新県立図書館が開館します。

また、開館前の4月からは館長として、作家の阿刀田高氏に就任していただくことになりました。

阿刀田氏は、聖書やギリシャ神話など歴史、文化に関する深い造詣に裏付けされた作品や数多くの短編小説を発表し、多くの読者の支持を集めています。また、直木賞作家であり、文化庁の文化審議会会長や日本ペンクラブ会長を歴任され、現在でも直木賞選考委員を務められるなど文化人として確固たる地位を築いています。さらに、大学卒業後約11年間、国立国会図書館の司書として勤務された経験をお持ちです。

新しい県立図書館は、新館長の下で、さらなるサービスの充実に努めて参ります。

■新県立図書館開館イベントーようこそ！としょかんへーを開催しました。



みらいななさん

昨年の11月23日(水)勤労感謝の日に愛称・シンボルマーク入賞作品の表彰式と合わせて、新県立図書館開館1年前のイベントを開催しました。

甲州市甘草屋敷子ども図書館の名誉館長で、『葉っぱのフレディ』の翻訳者としても著名なみらいななさんの絵本よみと講演では、こどもたちに舞台上にあがってもらい、直接みらいさんから絵本を

読んでいただきました。また、山梨の自然の素晴らしさ、読書の大切さについてご自身の体験をもとに語っていただきました。

アトラクションとして、甲府みなみ幼稚園の皆さんのマーチング、甲府西幼稚園の皆さんの和太鼓が披露され、新館への期待感を盛り上げていただきました。



■新県立図書館の愛称とシンボルマークが決まりました！

新県立図書館により一層親しみを持っていただけるよう、愛称とシンボルマークを募集したところ、全国から、愛称部門に3,797点、シンボルマーク部門に1,512点、合計5,309点ものご応募をいただきました。その中から、次の作品をそれぞれ新しい図書館の愛称とシンボルマークに採用させていただきました。

〈愛称〉

「かいぶらり」

山梨の旧国名である「甲斐」と図書館の「ライブラリー」をかけて、気軽に立ち寄ることができる図書館を表しています。「かいぶらり」は、甲府昭和高等学校2年生の武井拓己さん他15名の方からご応募いただきました。

山梨(Yamanashi)のYをモチーフに、本を積み重ねた様子を表現した広島県の大澤元裕さんの作品が選ばれました。積み重ねた本は、大地と大きく広がる若い芽もシンボライズしています。



山梨県立
図書館

YAMANASHI
PREFECTURAL
LIBRARY

〈シンボルマーク〉

(新図書館建設室)

～信玄VS謙信！あの一騎打ちから450年～

資料紹介展示「風林火山-川中島合戦in図書館」

10月26日(水)～12月27日(火)

敵陣に単身、騎乗で乗り込む上杉謙信。床几に座った武田信玄。振り下ろされた謙信の刀を軍配片手にはっしと受け止める信玄…。映画やテレビドラマでおなじみのこのシーンは、永禄四年(1561年)九月、第四次川中島合戦でのエピソードを元としています。

2011年は、この合戦からちょうど450年の節目の年でした。そこで、県立博物館、(社)やまなし観光推進機構、県立図書館の3機関では、昨年9月から12月にかけて、「第四次川中島合戦450周年リレーイベント」を行いました。

県立博物館による「シンボル展 川中島の戦い-戦後450年-」、(社)やまなし観光推進機構による旅行企画「川中島合戦と信玄の実像に迫る」から響を引き継ぎ、アンカーの県立図書館では、資料紹介展示「風林火山-川中島合戦in図書館」を開催しました。



ミニ講演会「山本管助と川中島の戦い」

川中島の戦いや、信玄、謙信について書かれた本のほか、合戦図屏風や浮世絵などの絵画、映画・ドラマなどフィクションの世界、「信玄公祭り」についての資料など、多角的な視点で川中島合戦を紹介しました。また、11月20日の「県民の日」には、関連イベントとして、県立博物館学芸員によるミニ講演会と、当館司書によるギャラリートークも行い、好評をいただきました。

会場には、江戸時代の軍法書『甲陽軍鑑』や一騎打ちを描いた錦絵(以上、県立博物館所蔵)、鎧や軍配、孫子の旗のレプリカ(以上、やまなし観光推進機構所蔵)なども展示しました。戦国時代の雰囲気を感じつつ、川中島合戦について知っていただけたのではないのでしょうか。

県立図書館では、武田信玄や、川中島合戦をはじめとする地域の歴史や県出身の偉人に関する資料を数多く所蔵しています。ご興味のある方はぜひ、郷土資料室へ足をお運びください。

(企画振興担当 高木美和)



会場では、鎧と孫子の旗が皆様をお出迎え

コラム・本の紹介

◆読書日和◆

『心のおくりびと 東日本大震災復元納棺師 ～思い出が動きだす日～』

今西乃子／著 浜田一男／写真 金の星社

多くの尊い命が奪われた東日本大震災。復元納棺師の笹原留似子さんは、被災地に入り、津波でひどく損傷した遺体の傷を修復し、生前の姿に復元して納棺するボランティアを続けました。突然大切な人を失った悲しみと、その変わり果てた姿に苦しむ遺族。復元された生前の穏やかな笑顔に、ようやく涙を流し、別れを告げられるようになるといいます。

復元納棺師という職業、そして、残された家族のために心の支援を続ける笹原さんに感動しました。「だれにでも、どこにいてもできる支援が存在すること」「忘れないことこそ最高の支援だよ」という言葉が印象に残ります。

この原稿を書いている時、偶然にも、社会に感動を与えた市民をたたえる「シチズン・オブ・ザ・イヤー」(2011年度)に笹原さんが選ばれたというニュースが入ってきました。児童書ですが、ぜひ多くの方々に読んでいただきたい1冊です。

(子ども読書推進担当 藤森恵理香)



図書館ギャラリー 韮崎市立図書館

韮崎市立図書館は2011年9月に韮崎駅前という好立地に完成した市民交流センター「ニコリ」の2階に新装オープンしました。建物はショッピングセンターを改装して作られているため荷重の関係で人の手の届く低い本棚をゆったりしたスペースを取って配置し、色々な形のイスやスツール、ソファをたくさん設置しています。思い思いの場所で読書を楽しむことが出来ます。

運営は(株)図書館流通センターが指定管理者となって行っています。スタッフは旧図書館時代からのベテランから新人まであわせて12名。県外で働いていたスタッフも地元に戻って美しい古里で共に働く喜びを感じています。一人一人が個性を発揮して韮崎市立図書館のファンを一人でも多く増やしたいと奮闘中。「みんなの幸せの為に生きる」と若くして決意した韮崎の偉人、保阪嘉内さんの志を受け継ぎたいと思っています。

この保阪嘉内さんは宮澤賢治のただ一人の親友として知られる人で、「ニコリ」1階の韮崎市偉人博物館のパネル展示によりその生涯の足跡をたどることが出来ます。図書館では嘉内さんを始め、小林一三などの関連資料を所蔵しています。韮崎市立図書館で更に深く探ってみませんか。



韮崎市立図書館

〒407-0015 韮崎市若宮一丁目2-50
TEL: 0551-22-4946 FAX: 0551-22-4950
<http://www.nirasaki-library.jp/>

編集後記

甲府駅の北口に完成間近の新県立図書館がその姿を現しはじめました。開館日、新館長とさまざまな事が決まり、11月のオープンに向けて図書館はいま走り出しています。県内外から注目が集まる中で、職員一同よりいっそう気を引き締めて皆さまのご期待に応えられるよう努めて参ります。

次号の読書山梨は、新図書館開館記念号としてオープン後の発行を予定しています。ご期待ください。
(企画振興担当 柳本智美)

新県立図書館開館 準備のための休館について

県立図書館は、新館への移転と開館準備のため、6月11日(月)から11月10日(土)の間、休館させていただきます。休館中は、移転作業のほか、図書館資料へのICタグ貼付作業、新館用図書の入受・整理、施設利用の諸規程の整備、新サービスの準備、図書管理システムや各種機器の設定・操作研修等、さまざまな作業を行う予定です。ご不便をおかけいたしますが、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

なお、利用者の皆さまには、新図書館でのサービスをスムーズにご利用いただけるよう、休館前の4月から新館用の利用カードを発行いたします。現図書館でもご利用いただけますので、お早めに切り替えをお願いいたします。

(調査サービス担当 水上百合子)

お知らせ

■新県立図書館開館準備のための休館

6月11日(月)～11月10日(土)

■新県立図書館開館

11月11日(日)

*現在開館記念イベントを企画中です。ご期待ください。

イベント情報

■資料紹介展示

「南極展 図書館de南極を学ぼう」

3月1日(木)～3月29日(木)

「こどもにすすめたい本 2012」

4月19日(木)～5月30日(水)

■県民の生活応援コーナー展示

「コミュニケーション～はなす・きく・よむ・かく～」

2月1日(水)～5月30日(水)

発行

山梨県立図書館

〒400-0031 甲府市丸の内二丁目33-1
TEL: 055-226-2586 FAX: 055-226-2528
URL: <http://www.lib.pref.yamanashi.jp/>
E-mail: ken-tosho@lib.pref.yamanashi.jp